

JIMのみしまものがたり⑯

三島の野生動物

この「JIMのみしまものがたり」をご覧になっているみなさんに、お願ひがあります。

読み進める前に、私たちのこの三島のまちについて、少し考えてみてくれませんか？

あなたの頭に最初に浮かんだものは何ですか？

自分の家、家族、学校を思い浮かべた人がいるかもしれませんね。三島大社や、私たちの足元からブクブクと湧いている富士山からの湧水を思い浮かべた人もいるでしょう。緑が美しい小道があり、大きく成長した雄大な木々に囲まれた楽寿園を思い浮かべた人もいるかもしれません。

この文章を書く前に、同じ質問を私の周りの友人たちにもしてみました。そこでは出てこなかった回答で、私の頭の中にあったもの。それは野生動物についてです。

幸運なことに、この三島の森にいると、そんな森の友人たちと簡単に出会うことができます。

まず、三島には様々な種類の鳥たちがいます。桜川や源兵衛川に沿って歩いていると、たくさん目にすることができます。カワセミ (kingfisher)、コサギ (little egret)、アオサギ (gray heron)、カルガモ (spot-billed duck)、そして夕暮れになると集まってくるムクドリ

(starling) の大群。

タヌキ (raccoon dog)

やハクビシン (masked palm civet) といった夜



にしか出会えない夜行性の動物もいます。私の友人が夜ベランダに出た時、ハクビシンが地上から数メートルの電線の上をスルスルと歩いているのを見たという話を聞きました。ハクビシンは驚いて足を滑らせ、前足だけでぶら下がっていましたが、すぐに体勢を立て直したそうです。

私自身は見たことがないのですが、三島の「らっきー」というニホンザル (Japanese macaque) のことをみなさんも覚えているでしょう。彼は「おさるのジョージ (Curious George)」みたいにとても好奇心旺盛で、自分自身の目で三島のまちを見てみたかったのでしょうか。イノシシ (wild boar) については言うまでもなく、その足跡やエサを探るために地面を掘り返した跡はいたるところで見ることができます。

今は冬の青空が続く季節です。ぜひ外に出かけて、私たちの周りにいる野生動物たちと触れ合ってみませんか。そこでお会いしましょう！

秋の宵の三島市民活動センターは夏の講座に引き続いで行われた

続スペイン語講座および続中国語講座に参加する熱心な受講生達で活気に満ちていました

続スペイン語講座

9月26日～12月12日の毎週火曜日



受講生の目的意識ははっきりしている。南米やスペインに旅行することを目標としている方、英語は一般的になってきたので別の言語に興味を持つ方などが意欲的に取り組んで学習を進めている。ケイラ先生の質問にもすらすらと受け答えができ、さすが続スペイン語クラスだ。



ペルーの太陽!
スペイン語の魅力を伝える
原 ケイラ先生

続中国語講座

9月25日～12月11日の毎週月曜



日本を訪れる台湾や中国の方と交流したい、仕事や旅行で使ってみたいなどの希望を持っている方々が、さらに学習を進めるために続講座を受講したようだ。皆で復唱する声も大きい。「とても熱心な生徒さんたちなので楽しくお勉強できています。」と張先生はにこやかに語った。



穏やかな笑顔で
やさしく相手を包み込む
張 万英先生